

平成26年度 那珂川町立小川中学校 学校評価報告書

評価項目	評価	取組状況・成果・課題	改善策	学校関係者評価・第三者評価でいただいた意見等
各学校での目標(重点は○数字)・具体策				
<b>I 学校教育目標や学校経営の方針の設定状況</b>				
1 愛級、愛校、愛郷の精神を基調として知・特・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。	A	・教職員が常に連絡調整を密にし、組織を生かして職務に当たることができた。	・読書の時間を含めた朝の活動を系統立てて、さらなる効果的な活動を図りたい。	・朝の短時間での活動は子どもたちにとって大切な時間となっているようなので、今後も続けていくとよいのではないか。
② 教職員としての使命感をもち、情熱と創意工夫にあふれる教育活動を展開する中で5かけの教育を実践する。	A	・ファイトタイム、コミュニケーションタイムなど、特色ある教育活動の展開を図ることができた。		
3 情操豊かな生徒の育成のため、潤いと安らぎのある教育環境づくりに努める。	B			
<b>II 保護者や地域との連携に努める</b>				
① HPや学校だより等を通して、保護者や地域に向け、きめ細かに情報提供し開かれた学校づくりに努める。	A	・HP、学校だより、学年だよりを定期的に発行でき情報提供に努めることができた。	・PTA活動、地域と連携を図った活動については、さらなる活性化を図りたい。	・地域ではあいさつがよくできる子どもが多い。 ・地域と連携を図った活動はさらに充実させてもらいたい。
2 PTA活動等とおして家庭・地域社会との連携を深め、活力ある学校づくりに努める。	B			
<b>III 確かな学力の育成に努める</b>				
① 基礎的基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、主体的に学ぶ意欲を育成し、家庭学習の習慣化を図る。	B	・学力向上に関する研修の充実を図ることができた。 ・家庭学習の充実を図る取組はやや不十分であった。	・小学校との連携を更に密にするなど、生徒の実態を踏まえた学習の習慣化を図り、学力の向上を目指したい。	・先生方には忙しい中とは思いますが、授業の充実を目指して頑張ってもらいたい。
2 わかる・できる・楽しい授業を実践するための指導方法、指導体制の工夫改善を図る。	B			
<b>IV 豊かな心の醸成に努める</b>				
① 各教科等や体験活動との関連を図った総合的な学習の時間の充実に努める。	A	・地域との関連を図った体験的・総合的な活動を計画し実施できた。	・総合的な学習では、小学校との連携を図り体系的な学習の推進を図りたい。	・総合学習では子どもたちとの交流ができてよかった。 ・教育相談は今後も計画的に進めて欲しい。
2 生徒との関わりや教育相談等とおして生徒との信頼関係を確立し生徒理解に努める。	B	・休み時間等常に教師が生徒に寄り添い生徒理解に努めた。		
<b>V 健やかな体の育成に努める</b>				
①健康の大切さを認識させるとともに、生活習慣の乱れや心の問題等に適切に取り組む。	A	・学校保健委員会でストレスについて生徒が調べ発表できた。	・避難訓練や交通安全教室については、内容を検討し更に効果的なものとした。	・不登校対策は学校だけでなく、町や関係機関との連携が必要な時代になっているのではないか。 ・安全教育の充実に努めて欲しい。
2 安全教育を重視するとともに、生徒の危機予測回避能力の育成に努める。	B	・避難訓練、交通安全教室等を計画どおり実施できた。		